



ひらがなの「み」を抽象化し、「希望」「飛躍」「親睦」を表現したデザイン

町民憲章

私たちは  
自然を愛し  
心豊かに健やかに  
未来にひらく  
美しいまちを  
ともにつくります

趣旨

美郷町は東に奥羽山脈、西に仙北平野が広がる肥沃な土壌と豊富な水資源に恵まれた町です。この豊かな自然環境を大切に、心身ともに健康で活力にあふれ、先人から受け継がれてきた伝統と文化を育み、未来に向けてさらに豊かで美しい町をお互いに尊重し支え合いながらつくっていきましょう。

町の花・鳥・魚・木

木



木は「赤松」。本町全域に広く見受けられ、特に千屋の松並木は新日本街路樹百景に選定されるなど、他の市町村に誇れるシンボルです。

花



魚



鳥



花は「ラベンダー」。本町には「五鈴」にも及ぶラベンダー園があり、開花期間中には五万人を超える観光客が訪れます。壮大で美しく甘い香りは本町のイメージにふさわしいものです。

鳥は「雁(かり)」。本町は「後三年の役(合戦)の古戦場」でもあり、「雁行の乱れ」の逸話は広い世代に知られており、歴史的にも本町にふさわしいものです。

魚は「ハリザッコ」。本町の清水等に多く見受けられ、美しい郷にふさわしいイメージがあります。

美郷町民歌

光あふれて

作詞 滝田常晴  
作曲 津雲 優

一、仰ぐ奥羽の 山並みに

夢はひろがる 雲は飛ぶ

松のみどりは 枝を張り

花の香りに 包まれて

美郷は幸せ 拓くまち

ここに光は あふれわく

二、歴史受け継ぐ この大地

豊かなみのり もたらして

渡り鳥さえ 慕い寄る

トミヨきらめき 水は澄む

美郷はよろこび 招くまち

ここに光は あふれわく

三、ふれあう心 あたたかく

人と自然の 支え合い

合わせる力 たくましく

ゆくてたのしく 伸び進む

美郷は未来を 創るまち

ここに光は あふれわく